

令和元年度第3回認可部会 内容記録

<p>部会長 (伊藤委員)</p> <p>事務局 (加藤課長)</p> <p>部会長 (伊藤委員)</p>	<p>1 開会</p> <p>定刻より少し前ですが、皆様がお揃いですので、ただいまから、明石市社会福祉審議会児童福祉分科会保育所等認可部会を開催させていただきます。</p> <p>本日進行役を務めさせていただきます、伊藤です。委員の皆さまには、お休みのところご出席いただきありがとうございます。議事の進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>事務局の方から本日の意見聴取に関する連絡事項がありますので、お願いいたします。</p> <p>事務局の明石市こども局こども育成室施設担当課長の加藤でございます。私の方よりご連絡をさせていただきます。</p> <p>まず本日は、部会委員5名全員の方がご出席されておりますので、明石市社会福祉審議会規則第4条第3項及び第6条第4項の規定に定める会議の成立要件を満たしていることをご報告申し上げます。</p> <p>本日の意見聴取は3件で、すべて現在、認可保育所として運営されている園が認定こども園へ移行する案件です。このうち、幼保連携型認定こども園へ移行する案件が2件、保育所型認定こども園への移行が1件です。</p> <p>配布資料の方ですが、事前にお渡ししているもののほか、机上に、本日の次第、委員名簿、本日の申請者一覧、審議会条例及び規則を配布しております。資料は揃っていますでしょうか。(欠落等無し)</p> <p>それでは、審議のほど、よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。では早速、意見聴取に移りたいと思います。</p>
<p>部会長 (伊藤委員)</p> <p>事務局 (加藤課長)</p> <p>部会長 (伊藤委員)</p> <p>部会長 (伊藤委員)</p>	<p>2 意見聴取（(仮)幼保連携型認定こども園 ゆりのき COCORO)</p> <p>(1) 認可申請予定案件の概要説明</p> <p>では、まず1件目の案件について、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>— (仮)幼保連携型認定こども園 ゆりのき COCORO の概要について説明—</p> <p>ありがとうございました。ここまでの説明について、何かご質問があれば、お願いしたいと思います。</p> <p>資料1(11)「保育所が実施する・・・」というのは、「幼保連携型認定こども園が実施する・・・」となりますね。</p>

<p>事務局 (加藤課長) 部会長 (伊藤委員)</p>	<p>おっしゃる通りです。訂正となります。これは次にご審議いただく「明石あすのこども園」についても同様の訂正となります。</p> <p>他にはよろしいですか。それでは申請者の方々にお入りいただきます。</p> <p>(申請者入室)</p>
<p>部会長 (伊藤委員)</p> <p>小林氏</p> <p>田代氏 (園長予定者)</p>	<p>(2) 申請者からの説明</p> <p>おはようございます。今日は認可部会に来ていただいて、ありがとうございます。</p> <p>申請者の方から、自己紹介と認可保育所の運営方針について、5分程度で説明をお願いしますでしょうか。</p> <p>千寿福祉会の理事長の小林です。私の隣へ順に理事の松石、現ゆりのきCOCORO 保育園長で認定こども園園長予定者田代です。</p> <p>現在の保育所は勤労者のお子様をお預かりしていますが、明石市の場合人口流入量が増加しており、それに伴い保育の色々なニーズをお持ちの保護者の方も増えております。働く保護者の子弟だけではなく、教育目的等で施設を利用したいというニーズにも積極的に対応していきたいと思い移行を申請しました。</p> <p>当福祉会での保育所から認定こども園への移行の例ですが、神戸市灘区にある高羽 COCORO 保育園が、平成 24 年度保育所認可を受け、平成 27 年度にこども園に、移行特例を使いまして移行しています。</p> <p>運営の方針については、保育理念は、一人ひとりの子どもと家族の思いを尊重し、あたたかいひだまりのように安心できる保育環境を提供し、養護と教育が一体となった保育を通して、子どもたちの心身ともに健やかな成長を家族、地域社会と連携をはかりながら支援していくことです。</p> <p>保育方針については、一人ひとりの子どもの個性と家族の思いを受け止め、丁寧にかかわることを中心に、そのほか、これまでの COCORO 保育園の理念、方針を基に、教育要領の趣旨も取り入れ、養育、保育を両方充実させていきたいと考えております。</p>

<p>部会長 (伊藤委員)</p>	<p>(3) 質疑</p> <p>ありがとうございました。今から、各委員からご質問、ご意見をいただきたいと思います。どなたからでも結構ですので、委員の皆さん、お願いします。</p>
<p>松原委員</p>	<p>3点あります。今まで保育所として運営してこられたわけですが、これに教育の部分が加わり、教育要領に拠るところも増えてきますが、そこをどう具体的にこども園での教育保育を考えていらっしゃるのか。</p> <p>2点目は職員の採用状況で、未定となっている4名の方の採用見通しと、幼稚園教諭免許をお持ちでないお1人の方について今後の取得予定を教えてください。</p> <p>最後に危機管理のところで、年間計画を考えていらっしゃるの現状の保育園と同じだと思いますが、4月開園してすぐに、それを具体的に進める手立てはありますか。子どもの命を守るために大切だと思うので、質問します。</p>
<p>田代氏</p>	<p>認定こども園の教育方針ということですが、COCORO 保育園の方針は、教育の面を考慮した、認定こども園と同じ、共通の全体的な計画としており、認定こども園に変わっても根本は同じだと考えています。こども園に移行したからそれに合わせて教育的なものに重きを置くのではなく、教育に充てられる時間帯に、これまでの方針で行ってきた教育を行うということになります。</p> <p>幼稚園免許を取得していない職員についてですが、特例で、5年間の経験で通常が必要取得単位数より少ない単位数で免許が取得できる仕組みを使うことも考えています。万一取得が難しくとも、送迎ステーションで一体運営をしている桜町ちいさな COCORO への異動もできますし、スムーズな運営に努めたいと考えています</p> <p>今年度の危機管理への対策は、全体的計画を立てています。明石地域では初めての運営ということで、安全点検計画に基づいて、職員間で同じ意識をもって取り組んでいます。近隣の警察や消防に依頼をかけたところ快くご協力いただき、児童も一緒になって、不審者対応訓練研修等をします。新しいこども園では、火災や風水害、不審者、熱中症についての対策についても追加も必要だと感じていますが、まずは今年度立てた計画を実施し反省していく。それが来年度移行した後も生きてくると考えています。</p>
<p>小林氏</p>	<p>欠員についてですが、現在6人の内定者が居ると聞いています。内訳は新卒3名、経験者3名です。経験者のうち1名は現職の神戸市保育所長経験者だとのことですから、現状の園長副園長1名ずつの体制から、園長1名、副園長2名の体制とします。幼児担当、乳児担当と体制強化し、経験を生かしてもらいたいと考えています。</p>

松原委員	添付の計画には、幼小連携＝小学校にスムーズにつなげる計画の面が抜け ているように思いましたので、そのあたりも今後検討し進めていっていただ ければと思います。
松野委員	私からは2点質問します。最初の説明で、いろんなニーズの保護者の方 に対応したいという説明がありましたが、保育所から認定こども園に移行する と少し違ってくるところもあると思うのですが、新規採用職員への採用時 の説明はどのようになっているのでしょうか。 また、この4月から運営して来られ、地域に根差した保育所を目指して色々 活動されていると思いますが、子育て支援事業について、資料にも沢山の事 柄が挙げられていますが、具体的にどのように進められてきたのでしょ うか。また今後の進め方についてもお尋ねします。
田代氏	子育て支援事業の具体的内容については、行事開放として、七夕まつりや 水遊びなどを行っています。特に水遊びは普段なかなか経験できないです から、地域に対して是非お出でくださいと呼びかけています。リトミックも 行いますし、専門的講師を呼ぶ内容もあります。現保育園の計画では後半 期にはコンサート等も行いますし、ブログで発信する予定です。少しでも地 域の方に経験を広げてもらえたらと思っています。 また育児相談を見学とは別に受け入れています。園長、副園長、主任が中 心となって個別に対応します。親御さんも、相談する場があることだけで安 心されて帰られます。今後も丁寧に行っていきたいと思っています
松石氏	私は新規職員の採用担当をしています。新卒の方は、幼稚園、保育士免許 を併有していますし、実習も受けられています。当園が来年認定こども園に なることを前提に説明しています。
松野委員	大久保地区は若い世代が多く、園児数も多い園なので、子育て支援の取組 もその分大変だと思いますが、地域に根差した認定こども園を目指して頑張 ってほしいと思います。
吉川委員	200名規模の大規模園が隣接している訳ですが、今まで半年運営してこら れて、特に送迎時等に危険な点等が無かったかということをお聞きしたいで す。駐車場も隣接しているので車の出入りの際等の危険回避についての連携 についてどのようにお考えかお聞かせいただきたいと思っています。 二つ目に、去年の保育園認可の際にもお尋ねしたかもしれませんが、せ っかく大規模園が隣接しているので、相互に連携した取組について、その後の 進み具合をお尋ねしたいです。
小林氏	最後に、桜町ちいさなCOCOROからの送迎を行われていますが、当園が 1号認定児を受け入れるに当たり、ちいさなCOCOROで送迎を待つときの 扱い等、どのようになるのか、確認させてください。 まず最後のご質問ですが、桜町ちいさなCOCOROの子どものうち、1号 認定を希望される場合はゆりのきCOCOROで受入を計画していますし送迎

<p>田代氏</p>	<p>も行うつもりです。問題なく行えると考えていますが、基準等の確認がとれておりませんので、後日確認します。</p> <p>安全面での連携についてですが、開園時に地域の方と、車で駐車場に進入の際はお互いに東側から進入して西側から出ていくというルールにし、保護者にも周知しています。朝昼の交通の集中する際は、見守りの方をお願いして、お互いの園に入る車を丁寧に安全に誘導してくださっています。その日ごとに「何か危険なことはありましたか？」と必ず確認していますが、トラブルは無いです。半年の運営の中で、交通集中時間というのは固定されてきました。保護者のお迎えの時間も少し変わってきました。いずれにせよ見守りの方の周辺交通の危険回避に係る取組は有効で、感謝しています。</p> <p>隣園間の連携ですが、開園して半年と短く、出来ていません。お互い話し合いの機会もありません。それが必要であるか、保護者がそれを望まれているかというニーズを踏まえてからの連携ではないかと考えています。</p>
<p>吉川委員</p>	<p>色々と工夫もされていると思いますが、大規模園の2軒並んでいる地域は珍しいケースですから、1+1が2ではなく3にも4にもなるような事例が出るように今後も是非期待したいと思います。</p>
<p>瓜生委員</p>	<p>私からは2点ほど。子育て支援事業の参加人数と年齢についてお聞きします。</p>
<p>田代氏</p>	<p>2歳児中心に2～3名です。リトミックは、1歳児も参加します。ふれあい遊びは、0歳児が中心の場所です。まだ始まったばかりです。見学の方にもお声掛けしています。</p>
<p>瓜生委員</p>	<p>子育て支援事業のうち、育児相談もいいことだと思いました。ところで桜町の送迎ステーションの利用状況はいかがですか。</p>
<p>小林氏</p>	<p>30人定員で、19人利用され、もう少しだけ利用希望が有ります。来年からは、0歳10人、1歳9人、2歳9人となります。</p>
<p>瓜生委員</p>	<p>朝は1回の送迎で済むのですか。</p>
<p>小林氏</p>	<p>朝は、9時発と10時発の便があります。</p>
<p>部会長 (伊藤委員)</p>	<p>緊急時対応計画、年間避難計画、非常災害時対応計画、消防計画等思わぬことがあった時の計画を立てておられますが、実際に起きた時に、誰がどう動くといったマニュアルなり手順は別にあるのですか。</p>
<p>田代氏</p>	<p>あります。</p>
<p>部会長 (伊藤委員)</p>	<p>もう一つ。アレルギー対応ですが、医師の生活管理指導表に基づいて、アレルギー除去食か代替食を選ぶとありますが、どちらにするかを選ぶ基準のようなものはあるのですか。</p>
<p>田代氏</p>	<p>卵、牛乳アレルギーには代替食、小麦アレルギーには完全除去での対応で、月5回程度弁当を持参していただく時もあります。</p>
<p>部会長 (伊藤委員)</p>	<p>ということは、除去食は、他の子どもさんと同じように見える食事という理解で良いのですか。</p>

田代氏	同じように見えない場合もあります。マヨネーズがダメな場合にドレッシングで対応する場合もありますし、誤食防止のために食器の色も変えています。
部会長 (伊藤委員)	アレルギー除去食と代替食との違いを教えてくださいませんか？
田代氏	例えばメニューがオムレツのとき、卵アレルギーの子には卵は巻かないでオムレツの中身だけのメニュー、これが除去食。代替食の場合は、そもそも違うメニューを出します。
部会長 (伊藤委員)	分かりました。 ほかに、意見はありますか。(意見なし)
	それでは、これで意見聴取を終わりたいと思います。長い時間、ありがとうございました。
	(申請者退室)

<p>部会長 (伊藤委員) 事務局 (加藤課長) 部会長 (伊藤委員) 部会長 (伊藤委員)</p>	<p>2 意見聴取（(仮)明石あすのこども園） (1) 認可申請予定案件の概要説明</p> <p>2件目の案件について、事務局から説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">— (仮)明石あすのこども園の概要について説明—</p> <p>ありがとうございました。 委員の皆さん、今の時点でご質問等がありましたらお出してください。</p> <p>よろしいですか。そうしましたら、申請者の方にお入りいただきたいと思 います。</p> <p style="text-align: center;">(申請者入室)</p>
<p>部会長 (伊藤委員) 春名氏 (理事) 節政氏 (園長予定者) 部会長 (伊藤委員) 春名氏</p>	<p>(2) 申請者からの説明</p> <p>本日は、保育所等認可部会においでくださり、ありがとうございます。 それでは、今から申請者の方々から自己紹介と(仮)明石あすの保育園の 運営方針等について5分程度で説明をお願いしたいと思います。</p> <p>社会福祉法人子どもの家福祉会理事で、幼保連携型認定こども園 本山北 町あすのこども園の園長の春名と申します。よろしくをお願いします。</p> <p>明石あすの保育園園長をしています節政靖代と申します。よろしくお願 いします。</p> <p>では、(仮)明石あすのこども園の運営方針等について、5分程度でご説 明をお願いします。</p> <p>では、施設を開設する理由から説明いたします。 当法人は、約50年、乳幼児の教育保育に携わってきた歴史があります。 現在、12か所の教育・保育施設を運営しており、そのうち7か所が、幼保 連携型認定こども園（以下「こども園」という。）です。こども園の実績の 積み重ねも6年目になりまして、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 （以下「要領」という。）に沿って、法人独自の全体的な計画を作成し、要 領の（第1章 総則）に示されております「幼児教育において、育みたい資 質・能力」及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を踏まえた、 アプローチカリキュラムを作成して、乳幼児時期からの遊びを通しての、育 ちの連続性を踏まえて、小学校との接続を視野に入れて、就学前教育に力 を入れています。</p>

現在、明石あすの保育園は、明石市大久保町において、平成 31 年 4 月に開園して以来、0 歳児から 5 歳児まで 1 5 4 人のお子様をお預かりしております。そして私たちの法人の保育理念に基づいた保育を実践して、保護者の皆様にも安心してご利用いただいております。また次年度について、現在の時点で、既に 1 0 0 件以上の入園希望のお問合せがあります。その中には 1 号認定の方のご希望も多く見られます。多数のお問合せに応えるために、急遽、9 月 23 日に、令和 2 年度の入園希望者に向けての教育保育説明会を実施することとしています。

このような明石市民の方々のニーズにお応えするために、次年度から、明石あすの保育園は、こども園に移行して、法人の運営する他のこども園とともに、充実した教育・保育を展開していきたいと考えています。

法人の教育・保育基本理念並びに教育・保育目標につきましては、『生きる力を育てる ―子どもの自主性を生かす―』『子ども理解 ―細かくではなく、深く理解する』『家庭・子ども相談支援 ―親のカウンセリング』この 3 つを柱として大切に考えています。

「細切れの教育・保育」「先生中心の教え込みの教育・保育」ではなく、子どもの欲求を一番に考えた、ひとりひとりを大切にする教育・保育を実践しています。

施設の運営方法等につきましては、法令を遵守し、園の運営規程、法人の各規程や規則に則って、適正に運営していきます。法人の理事会、評議員会も、それぞれの目的と責任の下、法人・各園の適正かつより良い園づくりを支えています。質の高い教育・保育活動のため 人材育成に力を入れ、職員の福利厚生や法人内研修を充実させ、働き甲斐のある職場、働きやすい職場を守っています。

また、様々な激甚災害が起こりうる今の時代ですので、非常災害時の対策についても、研修を重ねて、地域の特性に沿って、しっかりとしたマニュアルを備え、対応していきたいと考えています。

子育て支援事業については、在園児及び地域の子育て家庭に対して、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげ、親としての成長を助け、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう子育て支援事業をしていきたいと考えています。

在園児に対しては、早朝 7 時から及び 1 8 時から 1 9 時までの延長保育を実施します。また保護者との日々の信頼関係を大切にして、子育て学習会や子育て相談も実施していきます。

地域の子育て家庭に対しては、生後 6 か月から小学校就学前までのお子さんを対象に、一時預かり事業を実施します。

また、園庭開放、保育室での遊び体験、園の行事への参加や子育て支援、子育て相談も実施していきたいと考えています。以上です。

	<p>(3) 質疑</p> <p>ありがとうございます。では我々委員の方から、質問させていただきますので、お答えをお願いします。</p> <p>資料を見せていただき、お話を聞かせていただいて、とてもしっかりした理念と教育方針で、安心しています。4月から保育所を運営されているので特に問題は無いかなと思いますが、こども園に移行するにあたって、保育園のときは保育所保育指針に沿っていたのが、こども園に移行すると、要領に沿うことになります。先生方の研修や意識を高めるための取組や、具体的な保育内容はどのように考えておられるのかお尋ねします。</p> <p>保育教諭の名簿を見ると、保育士の資格のみの方が居られますが、その方々が、こども園に移行した後幼稚園免許の取得計画はどのように進められていくのか教えてください。また、名簿で採用予定としている職員の採用状況も教えてください。</p> <p>小学校との連携についてはどのように考えておられますか。園児さんが進学されるのは、たぶん1校だけではなく、複数の小学校が進学先となると思いますが、そういった場合の連携方法についてお聞かせいただきたいです。</p>
<p>春名氏</p>	<p>具体的な保育内容については、法人で7園のこども園を運営しています。研修も、要領に沿ったものを開催しており、明石あすの保育園の職員も、その研修に参加し勉強しております。</p> <p>研修では、アプローチカリキュラムを作ろうという内容に昨年度から取り組んでいます。要領内の総則に示される「10の姿」それぞれに子どもの活動を当てはめて、具体的にどのような遊びや課題を提供して育てていくかということに取り組んでいます。</p> <p>経験者も多数居りますので、分からないところは補いあえますし、こども園に移行するまでには、現在運営のこども園へ出向いて実習や勉強ができると考えております。</p> <p>小学校との連携については、アプローチカリキュラムを活用したいと考えています。また、オープンスクール、要録の送付、先生方との出来る限りの懇談等を進めていって、子どもが小学校入学に向けてイメージしやすいように進めていきたいと考えています。</p>
<p>節政氏</p> <p>松野委員</p>	<p>採用状況等ですが、委員がおっしゃるように、保育士資格のみの職員も居ります。申請手続きを進める中で、個別に面談も行ったところ、幼稚園免許取得の意思も確認できていますので、応援していきたいと思えます。</p> <p>3点お聞かせください。</p> <p>子育て支援事業の具体的な実施内容や実施体制を確認します。200人規模の大規模な園ですが、どのようにして対応しているのでしょうか。</p> <p>こども園として7か所運営され、そのための法人内研修や危機管理等の研</p>

	<p>修も積まれていると思いますが、長時間勤務の中でどう研修時間を確保していますか。</p> <p>アレルギー対応についてですが、対象児は居られますか。エピペンの使い方等の対応に係る研修時間をどう確保されていくのでしょうか？</p> <p>子育て支援事業は、子育て支援拠点を設けるといところまではいかないにせよ、おおよそ2歳未満の方を対象として、保護者が、お子様及び在園児と一緒に、園庭及び保育室で一緒に遊んでいただくということをベースにしています。これにより、こども園に居る子どもたちの様子を学んでいただくとか、職員もそこで一緒に遊ぶことによって、遊び方を伝授したり、(保護者と)ことばを交わしたりすることができます。</p> <p>子育て支援事業は、このことをメインに据えたいうえで、時々企画を組みます。例えば、「管理栄養士から離乳食の作り方を学ぶ」「主任や園長が保育相談に乗る」「若手保育士が歌や手遊びを行う」などです。親どうしがコミュニケーションをとり、仲間意識を育てていただくことにつながればと思います。</p> <p>外部講師を呼ぶような、赤ちゃんヨガだとか流行りのことはしません。あくまで園の中で丁寧に行っていることを保護者の方にも味わってもらい、職員の持つ知識を授けていく。(という形で)コツコツと進めてまいります。</p>
<p>春名氏</p> <p>節政氏</p>	<p>法人内研修ですが、保育時間内に、各々が希望する内容の研修に出向いています。その間は、私(園長)や主任がフォローし補うという形をとっています。</p> <p>アレルギー児への対応については、厚生労働省のガイドライン及び明石市のマニュアルに従っています。</p> <p>具体的流れとしては、まず医者からの指示があるのが基本です。生活指導管理表に記載いただいて、対応がスタートします。入園前に、職員、看護師及び保護者の3者で個別相談を行います。そこで色々な食材を保護者とチェックし、必要書類に記入します。</p> <p>次に、月ごとの献立表で、保護者による事前のアレルギー食材チェックです。すべての書類を基にして月ごとに対応します。給食室及びレストランでも、必ず、事前に保護者に確認いただいたチェック表で、保育士、看護師とチェックします。食器も色分けし、配膳まで対応します。このように、子どもの口に至るまでのいくつかの関門があります。</p> <p>研修についても、給食会議などを行い、次々回の献立の検討、委員会及びヒヤリハット等、事故防止に努めています</p>
<p>松野委員</p> <p>節政氏</p> <p>松野委員</p>	<p>今、アレルギー対応の必要な園児は居ますか。</p> <p>13名居ます。</p> <p>沢山ですね。危機管理という面でもしっかり対応をお願いします。ところで、子育て支援事業のご担当は、園長と主任の先生が主になさるのですか？</p>

節政氏	<p>現在は、子どもたちの保育を中心に行っていますので（事業は行っていません）。</p>
松野委員 吉川委員	<p>若い世代が多い地域ですので、順次、その辺りを進めていってください。 3点伺います。</p>
節政氏	<p>隣に同時に開園した保育園との連携について、今までの実績や、今後の取組について伺います。</p> <p>学生ボランティアの受入をされるようですが、具体的な受入の効果、取組内容について教えてください。</p> <p>障害児保育への考え方や取組についてお尋ねします。</p>
春名氏	<p>隣接園との交流までには至っていません。自園の保育にひたすら頑張ってきたというのが実情です。これからどんな交流ができるのか、隣の園長先生とも相談しながら進めていけたらいいと思います。</p> <p>学生ボランティアの取組ですが、今の園ではまだありませんが、私がこの春3月まで在園した加古川市の「かこのうみこども園」では、保育実習の受入をしていました。学生が電話をしてきてボランティア体験をしたいと言われたら、学校と連携して確認し、積極的に進めていました。その中の体験で、園に興味を持ち、採用に至った学生もいます。明石の園でもそんなふうに取り組めたらいいなと思います。</p>
吉川委員	<p>障害児保育については、グレーゾーンとされる状態の子も含め、色々な障害の子が居ますが、一番大事にしたいのは、その子がクラスで孤立しないようにということを心掛けることです。</p> <p>特定の子に先生が張り付き、その子ばかりと一緒に過ごして、結果的にその子が落ち着いて活動ができるようになったとしても、その子が孤立してしまっていては何にもなりません。クラスの中で一緒に育てることを、その子のためにも、クラス全体のために、大事に考えていきたいというのは、この園でも、どの園でも、一番に考えていることです。</p> <p>法人として契約している言語聴覚士が居ます。全部で7人が月に1・2日ペースで各園を巡回しています。困っている子を見つけたときには、委嘱契約をして、個別のトレーニングをしたり、保育士に対してその子への関わり方をレクチャーしたり、保護者と面談のうえ自宅で出来ることをアドバイスしたりしています。そういうことが、明石でもやれると思っています。</p>
瓜生委員	<p>保育士になられる方が少ない状況下、ボランティアの受入等の取組はこれからつながっていくと思うので、積極的をお願いしたいと思います。</p> <p>隣園との連携についても、是非よろしくお願いします。</p> <p>障害児教育についても、早期発見して取り組んでいくのが大事ですから、先生の研修等を通して障害児についての知識を増やしていただきたいと思います。</p>
瓜生委員	<p>3点ほどお聞きします。</p>

節政氏	給食の食材は、子ども自身が収穫し、計画的・積極的に取り入れる工夫を したいとあるが、プランターで野菜を育てるなど、何かされているのですか。
瓜生委員	4～6月にしたかったが出来ていない。冬野菜の栽培は計画中です。
節政氏	分かりました。次に、男性保育士は居られますか？
瓜生委員	2名居ます。
節政氏	全国的に男性保育士が増えていますが、メリット・デメリットをお聞かせ 願えますか。
節政氏	幼児クラスを担当していますが、とても優しい人柄で、丁寧にきちんと子 どもの様子を気にしてくれています。
瓜生委員	外で思いきり遊ぶときに、とてもダイナミックに関わってくれているの で、子どもたちの人気者です。男性ですけど、細かなところに配慮しなが ら、充実した保育を行っています。
節政氏	デメリットはありますか。
瓜生委員	本人は着替える場所にとっても気を使っているなと思っています。
節政氏	最後に、一時預かりをされているようですが、どのような形でなさってお られますか。
瓜生委員	新園なので、明石市に了解をもらって来年からの予定です。
節政氏	そうですか。給食に出す冬野菜の収穫楽しみにしています。
伊藤委員 (部会長)	ほかによろしいですか。(追加質問なし)では、これで意見聴取を終わ ります。ご退出をお願いします。
(申請者退室 10分休憩)	

<p>部会長 (伊藤委員) 事務局 (加藤課長) 部会長 (伊藤委員)</p>	<p>2 意見聴取（(仮) 認定こども園 太寺保育園） (1) 認可申請予定案件の概要説明 では、3件目の案件について、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">— (仮) 認定こども園 太寺保育園の概要について説明—</p> <p>ありがとうございました。ここまでの説明について、何かご質問があれば、お願いしたいと思います。</p> <p>よろしいですか。そうしましたら、申請者の方にお入りいただきたいと思 います。</p> <p style="text-align: center;">(申請者入室)</p>
<p>井藤圭湍氏 (理事長)</p>	<p>2 意見聴取（(仮) 認定こども園 太寺保育園） (2) 申請者からの説明</p> <p>太寺保育園は私が二代目で、先代が昭和 17 年戦争中に地域の子供たちのための日曜学校を開いたのが最初で、終戦後の昭和 24 年に太寺保育園を設立し昭和 27 年に宗教法人高家寺の運営する太寺保育園として認可をとりま した。</p> <p>その後、私が昭和 44 年 10 月に明石にきて太寺保育園に携わることになり ました。平成 7 年に宗教法人から社会福祉法人に変わり、何度か増改築もし ております。</p> <p>太寺保育園はお寺の境内にある保育園なので、仏教的なものを前面に出す ことは無いにせよ、そういう環境の中で子供たちを育むことを念頭に置いて おります。平成 23 年には本堂の前にある園庭を全面天然芝にして、自然環 境のよい状態で子供たちを育てております。</p> <p>長年、この地で保育園を運営しているので、卒園児の息子、孫など親子で 通園している方もおられ、地域に根付いた保育園の実績をもって保育園型の 認定こども園に移行したいと思っております。</p>
<p>部会長 (伊藤委員) 松原委員</p>	<p>(3) 質疑</p> <p>ありがとうございました。今から、各委員からご質問、ご意見をいただき たいと思います。では松原委員からお願いします。</p> <p>2点あります。長年明石で保育に携わっておられるので、保育に関しては 特に心配することはないと思うのですが、こども園に移行する、それに伴っ て来年度の職員採用予定が5名と聞いていますが、現状どうなっているのか 確認したいと思います。</p>

<p>井藤圭順氏 (園長)</p>	<p>もう一点は、危機管理についてですが、事例が具体的に書かれています。これがマニュアル化されているのかどうか。</p> <p>園児が 150 名、職員が 33 名の体制で組織として先生方、職員の方それぞれの役割分担等を共通理解されて実際にそういった訓練がなされているのか教えて下さい。</p> <p>職員採用については、4 時間勤務の先生が 8 月末から 1 名、10 月から正規職員を 1 名採用予定です。それ以外に来年 4 月に 5 名正規職員の採用を予定しています。</p> <p>29 日の就職フェアの際に上記 5 名の内、3 名がブースにきて面接をしています。それぐらい採用しないと現場がまかせないと思っています。</p> <p>現在 4 時間勤務の者が 10 名いて、時間がきたら直ぐ帰るので 4.5 名は正規職員を補充しないと厳しいと思うが、大体目途がついたと思っています。</p> <p>危機管理については旧園舎では、地震、大雨、火事等の避難訓練を月一度は行っていました。現在工事中で新園舎が半分できたところに移動して、ようやく慣れてきたところです。</p> <p>旧園舎を建替えて、この 8 月 26 日に新園舎に移ってきたばかりです。園舎の規模が従来に比べかなり大きく、給食室の場所も変わったり避難ルートの距離が伸びたり、移転から日も経っていないので、状況把握もできていませんが、私自身も防災士の資格を所持しているからその観点から、危機管理に係る見直し等、新たに考えないといけないと思っています。</p>
<p>松原委員 部会長 (伊藤委員)</p>	<p>子どもの安全のため、よろしく願いいたします。</p> <p>では、松野委員お願いします。</p>
<p>松野委員</p> <p>井藤園長</p>	<p>はい、3 点あります。1 点目はこども園になるのでこれから 1 号認定の子供たち、時間の違う子供たちがこられるので職員への研修とか周知について、どうなっているのか教えてください。</p> <p>2 点目は給食のアレルギー対応について、今までアレルギーで重篤な事態はなかったようですが、これからどうなるか分からないし、アレルギー対応をどうされるのか教えてください。</p> <p>3 点目は子育て支援事業、地域交流についてどう対応されるのか、外部からの支援等どうなっているのか教えて下さい。</p> <p>研修については、キャリアアップ計画を職員間で図っていきながら進めています。保育協会の東播磨大会や明石の保育協会主催の研修にも参加し、その研修受講職員が他の職員に対して内容を意思疎通していると思います。</p> <p>アレルギー対応については、給食室、保育室に個人ごとにアレルギー一覧表があり、配膳の時にはプレートの色を変えるなどで対応しています。</p> <p>保護者から、アレルギーの除去ができた、と報告があったときにも「医師の許可だけでなく、実際に家で食べてみましたか」と確認してから対応する</p>

	<p>ようにしています。ですから事故は今までありません。ファームでとれる野菜が食育に与える効果についてもこれから期待しています。</p>
井藤理事長	<p>地域交流については、ラジオ体操とか、運動会とかを自園で実施しています。自治会の役を引き受けているのでその関係です。園舎工事中なので今は難しいですが、第三期工事で運動場再整備をするのでこれからまた対応します。安全ももちろん図っていきます。</p>
松野委員	<p>子育て支援事業としては、第4水曜が園庭開放というのがあります。これという目立った活動は無いですが、ルールに書いたような子育て支援事業ではなく、地域とのコミュニケーションを重視します。突発的に起きたことでもお話を受ける、子どもは地域からきて地域に還る、との思いを持っていますが、全てのことが子育て支援事業になるとの思いで取り組んでいます。</p>
吉川委員	<p>これからも地域に根差した保育園を目指してほしいと思います。</p>
井藤園長	<p>園の周囲がやはり少し道が狭いと思うので、安全対策はどう考えておられますか。</p> <p>もう一点は障害児保育の現状について貴園の取組み、考え方を教えていただきたいです。</p>
井藤理事長	<p>安全対策について、現在、駐車場はありませんがこれからの工事で園庭整備をする際に駐車場を25台設置予定です。今までより安全面は良くなると思いますが、保護者同士が話すことが増えて、そのすき間時間に子供たちが駐車場で遊んでしまい危険な状態にならないよう防犯カメラを設置したり、職員から声がけ等をしたりして対応しようと思います。</p> <p>障害児保育については、現在何名か疑わしい子がいますが保健師と相談したり、保護者からも話があるがやはり抵抗があるようでなかなか対応に踏み出せないのが現状です。</p> <p>過去には障害者手帳をもった子の入園もありました。その際は、外部の発達障害支援施設と協力して対応したこともありますので、そういった経験も今後活かしていきたいです。</p>
吉川委員	<p>障害児対応については、あれ、と思うお子さんが居られても、こちらからなかなか言えないところがあります。正直なところ、保護者の方から言ってきてもらえると、こちらも保健師に相談したりできるのでかなり変わってくると思います。なかなか難しいですね。</p>
伊藤委員 (部会長)	<p>ありがとうございます。防犯面の対策は向上するようなので良いと思います。障害児保育については、早期の発見、対応できるのが大切だと思うので保健師や支援施設と連携されているのは良いと思います。これからもよろしくをお願いします。</p>
瓜生委員	<p>では瓜生委員お願いいたします。</p> <p>二点あります。一点目は先程も話しがありましたが菜園についてです。</p>

井藤園長	<p>キュウリ以外にどんな野菜を作っておられますか。</p> <p>茄子、ピーマン、秋に向けてサツマイモを。収穫して空いたところにも何かしら植えました(笑)。実は園ではなく、菜園の貸主が色々サポートしてくれて、こちらが貸主の指導を受けて作っています。園舎を新築する際、食育の為に畑を作りたいと思っていたが経験がなく自分たちでする自信がなかったところ、近隣に菜園ができてよかったです。1年も経たないところですが、成果が出てきていると思います。</p>
瓜生委員	<p>もう一点は、今の職員の方々は保育士の資格はお持ちでしょうか、幼稚園教諭の資格はお持ちですか。</p>
井藤園長	<p>今、全職員持っています。監査の際に資格証の名前が旧姓のまま指摘を受けたのはありますが、ほとんど全職員持っています。</p>
瓜生委員 伊藤委員 (部会長)	<p>わかりました。ありがとうございました。</p> <p>それでは、これで意見聴取を終わりたいと思います。長い時間、ありがとうございました。</p>
(申請者退室)	
伊藤委員 (部会長)	<p>本日の意見聴取、案件はすべて終了しました。</p> <p>全体を通して、また、個別の案件について、追加で伝えておいてほしいということも含めて、何でも結構ですが、ご意見をお出しいただきたいと思います。</p>
松原委員	<p>幼稚園免許をもっているということは、免許更新にも行かないといけないということですね。更新するとなったら、講習会に6日間抜けなければいけない。その時の保育の対応はどうされるのでしょうか。費用負担など。公立幼稚園は自費負担ですが、その辺りはどうされるのか気になりました。</p>
事務局 (加藤課長)	<p>確認しておきます。(結果は下記)</p>
<p>※9月25日、各園に以下質問をメールで聞取り</p>	
<p>1 科目履修に向けての受講方法</p>	
<p>① 指定機関等に通学して受講する ② 通信講座等で受講する ③ 園内で指導資格のある職員等が講義を行う ④ その他</p>	
<p>2 受講にかかる時間の確保について</p>	
<p>① 当該職員の代替職員を配置し対応する ② 勤務は通常通りこなし、時間外もしくは休日に受講させる ③その他</p>	
<p>3 受講費用の負担方法</p>	
<p>① 個人負担 ② 法人負担 ③ その他</p>	

	<p>(回答)</p> <p>(1) 幼保連携型認定こども園 ゆりのき COCORO</p> <p>1 受講方法 →① 通学または②通信の方法のうち本人が選択。</p> <p>2 時間確保 →① 代替職員配置で対応</p> <p>3 費用負担 →① 個人負担で対応</p> <p>(2) 明石あすのこども園</p> <p>1 受講方法 →② 通信講座等で受講する</p> <p>2 時間確保 →② 勤務は通常通りこなし、時間外もしくは休日に受講させる</p> <p style="padding-left: 40px;">③ その他(平日に受講が必要な時には、主任・園長が保育に入りサポートする)</p> <p>3 費用負担 →② 法人負担(法人に免許取得のための貸付制度有。3年勤続の場合返済不要)</p> <p>(3) 認定こども園 太寺保育園</p> <p>1 受講方法 } 2 時間確保 } ともに未定 3 費用負担 }</p>
<p>部会長 (伊藤委員) 事務局 (加藤課長)</p>	<p>4 閉会</p> <p>そうしましたら、保育所等認可部会の意見聴取を終了させていただきます。事務局へお返しします。</p> <p>本日は、お忙しい中、また、お盆休みの時期にもかかわらず、お集まりいただき、ありがとうございました。また、各委員の皆様から色々と貴重なご意見をいただきました。</p> <p>市としましては、本日いただきましたご意見を踏まえ、各案件にかかる認可手続きを進めてまいりたいと思います。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>